

令和3年6月定例会会議録（第3号）

令和3年6月15日 火曜日 午前10時00分開議

浅野敏明 議長 鈴木富美子 副議長

出席議員（16名）

1番	鈴木一則	議員	2番	勝見英一朗	議員
3番	渡部正之	議員	4番	鈴木裕	議員
5番	竹田陽一	議員	6番	金子豊美	議員
7番	内谷邦彦	議員	8番	渡部秀樹	議員
9番	平進介	議員	10番	鈴木富美子	議員
11番	赤間泰広	議員	12番	梅津善之	議員
13番	小関秀一	議員	14番	今泉春江	議員
15番	蒲生光男	議員	16番	浅野敏明	議員

欠席議員（0名）

説明のため出席した者

内谷重治	市長	齋藤環樹	副市長
竹田利弘	政策推進監	鈴木嗣郎	会計管理者兼財政課長
新野弘明	総務参事兼総合政策課長	梅津義徳	厚生参事兼福祉あんしん課長
土屋正人	教育長	青木邦博	技監兼建設参事
赤間茂樹	産業参事兼観光文化交流課長		

事務局職員出席者

近藤智規	議会事務局長	安倍玲子	補佐
飯澤光梨	議事調査係長	安達洋司	技士長

議 事 日 程 (第 3 号)

令和 3 年 6 月 1 5 日 火曜日 午前 1 0 時 0 0 分開議

- 日程第 1 市政一般に関する質問
- 1 4 番 今 泉 春 江 議員
 - 1 番 鈴 木 一 則 議員
 - 8 番 渡 部 秀 樹 議員
 - 1 1 番 赤 間 泰 広 議員

本日の会議に付した事件

議事日程 (第 3 号) に同じ

開 議

○浅野敏明議長 おはようございます。

これから本日の会議を開きます。

本日の会議に欠席の通告議員は、ございません。

よって、ただいまの出席議員は定足数に達しております。

なお、渡部秀樹議員及び赤間泰広議員から、資料の配付について申出があり、会議規則第150条の規定により許可いたしましたので、ご報告いたします。

本日の会議は、配付しております議事日程第3号をもって進めます。

日程第1 市政一般に関する質問

○浅野敏明議長 日程第1、市政一般に関する質問を昨日に引き続き行います。

それでは、順次ご指名いたします。

今泉春江議員の質問

○浅野敏明議長 順位6番、議席番号14番、今泉春江議員。

(14番今泉春江議員登壇)

○14番 今泉春江議員 おはようございます。

日本共産党の今泉春江でございます。

まず最初に、コロナワクチン接種により多くの職員の皆様、また医療関係の皆様におかれましては、きめ細かな対応に心より感謝を申し上げ

げます。ありがとうございます。

それでは、質問に入らせていただきます。

私は、内谷市長に3つの提案と質問をいたします。

まず第1は、高齢者の補聴器購入費助成条例の創設について提案します。

高齢期になると聴力機能が低下し、聞き返しが多く、聞きにくく会話の中に入っていけない、全てにつらいなどの切実な声が寄せられます。

また、社会参加なども聞こえにくいために支障が起きてまいります。さらにコロナ禍、自粛などでお年寄りが孤立するケースや、その影響で認知症の危険も増えているとの報告もあります。

しかし補聴器を早期に軽いうちからつけられるようにすれば、生きがいと社会参加促進になり、認知症対策としても効果があるとされています。しかし補聴器は片耳平均15万円、6万円以下のものもありますが、高額で購入できない、片耳だけで我慢しているなど、不便な生活に甘んじる高齢者が多数います。そこで、補聴器購入費助成をすれば、補聴器購入のきっかけになります。そのために認知症や聴力機能の低下のある高齢者に対し、補聴器の購入費の一部を助成する自治体が全国に広がっています。

まず、東京都の事例です。東京都23区では、補聴器助成制度が15区で制定済みです。2019年から2021年にかけて6区が実施に踏み切りました。練馬区などでは難聴者や補聴器の実態基礎調査が行われ、聞こえの状態、補聴器の使用状況、補聴器を持っていない理由など広範な分野で行われ、区は第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に早期からの認知症予防活動の充実のために、補聴器購入費用の助成を行うことを盛り込みました。これにより、来月の7月から助成制度がスタートします。練馬区の補聴器購入助成制度の対象者は65歳以上の区民税非課税世帯の人、専門医が補聴器の必要性を認めた人。助成限度額は2万5,000円、身体障害者